

メンテナンス塗装について【屋外】

塗膜の傷み具合は、経過年数、建物の構造、立地条件、方角、樹種等により多様です。塗装の劣化状況を適切に判断し、早期に定期的なメンテナンスをして保護効果を維持することで素材をいつまでも美しく保つことが可能です。

I) 軽度の傷み — 光沢感の喪失、色褪せなど（塗膜はまだしっかりした状態）

（参考写真）



再塗装方法： 基本的に塗膜を剥離しないで、表面の汚れ落とし、軽くサンディングした後、しっかり定着している塗膜の上に全体を1～2回上塗りする。

【工程】

下地調整 — 下塗り — 乾燥 — 上塗り — 乾燥

*劣化の状態に応じて1回塗り（上塗りのみ）の施工でも可能です。

【下地調整方法】

1. 塗料用シンナーなどで、汚れ、付着物、油分などをしっかり取り除く。
2. 必要に応じて水洗い、汚れをしっかり取り除く。
3. しっかり乾燥させる(3日間以上)。含水率は20%以下が目安。
4. 木目にそって塗膜表面を軽めにサンディング(#80~120)。
5. サンダー屑、ゴミ、ホコリをしっかり取り除いて木材表面をきれいにする。

※メンテナンス塗装は下地の状態により仕上がりが異なりますので、事前にご確認ください。

※前回塗装をした時と同じ色または多少濃い目の色を使用することをおすすめします。

※セトール Filter7 プラスやセトールデッキ/デッキプラスで仕上げている場合、塗膜がしっかり残っている場合はセトール HLSe（下塗り）を塗装しなくても同製品でメンテナンスが可能です。上記のような厚膜タイプの製品の場
合、活膜部分はセトール HLSe のような浸透性に近い塗料は浸透しにくい可能性があります。

※ラフゾーン（粗削り面）素材などは表面にサンドペーパーが当たりにくいですが、塗料の付着性は発揮しやすいので水洗いだけの下地処理でも可能です。高圧洗浄を行う場合は素材を削らないよう圧力に注意してください。

※セトールデッキプラスは防滑効果を維持するため、定期的な再塗装（上塗り）をおすすめします。

Ⅱ) 中程度以上の傷み — 塗膜の脱落が進行、木材表面が露出し傷んでいる

(参考写真)



塗膜残存と脱落の混在

- 再塗装方法： ①活膜(しっかり定着している塗膜)はそのまま生かして全体を研磨、塗膜剥離している部分とその周辺の下地処理を入念に行って全体を2～3回塗りする。
②活膜部分を含めて既存塗膜を全て除去、新規塗装と同様に2～3回塗りする。

[工程]

下地調整 — 下塗り — 乾燥 — 上塗り — 乾燥 — 上塗り — 乾燥

*下塗り～上塗り 合計2～3回塗りの工程です。

*既存塗膜を全て除去した場合は新規塗装と同様の塗装仕様にて塗装して下さい。

[下地調整方法]

1. 塗料用シンナーなどで、汚れ、付着物、油分などをしっかり取り除く。
2. 必要に応じて水洗い、汚れをしっかりと取り除く(塗膜剥離剤などの薬剤を使用する場合、木材表面に薬剤成分が残らないように水で洗い流す)。
3. しっかり乾燥させる(3日間以上)。含水率は20%以下が目安。
4. 木目にそって塗膜表面をサンディング(#80～120)、下地の毛羽や劣化している旧塗膜をしっかりと取り除く。塗膜を剥離する場合は入念に行う。
5. サンダー屑、ゴミ、ホコリを取り除いて木材表面をきれいにする。

※活膜部分と塗膜脱落部分のムラが生じる可能性があります。塗膜脱落部分に先に1～2回タッチアップ塗装をして、その後全体を1～2回塗りする方法もあります。吸い込みが多いなどの場合、下塗り×1回塗り、上塗り×1回塗り(計2回)のタッチアップ塗装もご検討ください。

※木材素地が傷んでいる箇所は吸い込みにより色が濃くなる場合があります。

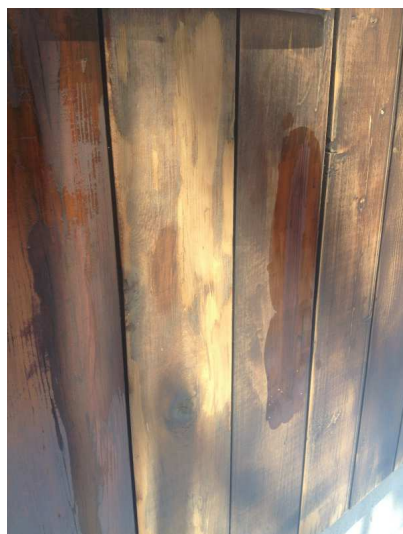
※全体を塗装する場合は、既存の塗膜(活膜)と同じ色、または多少濃い目の色を使用することをおすすめします。濃い目の色により色ムラを目立たなくする効果があります。

■剥離剤・洗浄剤の推奨メーカー:株式会社ミヤキ

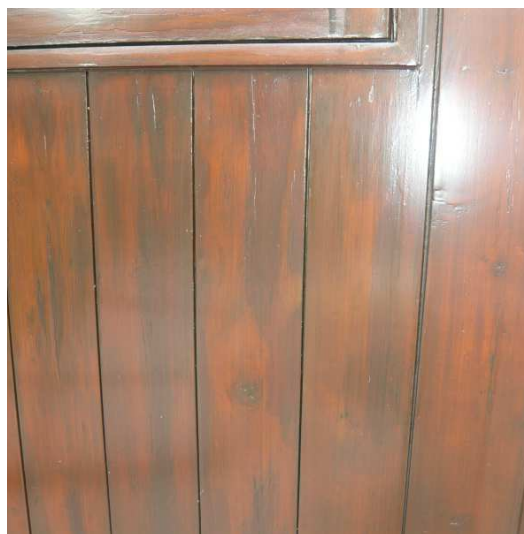
福岡県福岡市中央区大手門1-2-23(本社) TEL:092-713-0001

タッチアップ塗装例

塗装前（サンディング後）



メンテナンス塗装後



- 【工程】 下塗り：セトールHLSe × 1回塗り（脱落部分にタッチアップ塗装）
 セトールFilter7プラス × 1回塗り（脱落部分にタッチアップ塗装）
 上塗り：セトールFilter7プラス × 1回塗り（全体を塗装）

【屋外メンテナンス塗料 既存塗膜別推奨品一覧】

メンテナンス品	セトールHLSe (浸透性が強い)	セトールFilter7プラス (造膜性が強い)	セトールTGL (造膜性強いクリア)	セトールノバテック (中浸透・中造膜性)	セトールデッキ (造膜性が強い)	セトールデッキプラス (造膜性が強い)	セトールBLXpro (水性半造膜タイプ)
既存塗膜							
セトールHLSe (浸透性が強い)	○	○	○	○	○ ウッドデッキ面のみ	○ ウッドデッキ面のみ	○
セトールFilter7プラス (造膜性が強い)	△ 活膜部分には不向き 脱落部分下塗りとして	○	○	△ 活膜部分には不向き 脱落部分下塗りに可	×	×	△ 活膜部分には不向き
セトールTGL (造膜性強いクリア)	△ 活膜部分には不向き 塗膜あると着色困難	△ 塗膜あると着色困難	○	△ 塗膜あると着色困難	×	×	△ 活膜部分には不向き
セトールノバテック (中浸透・中造膜性)	△ 活膜部分には不向き 脱落部分下塗りとして	○	○	○	×	×	△ 活膜部分には不向き
セトールデッキ (造膜性が強い)	△ 活膜部分には不向き 脱落部分下塗りとして	×	×	×	○	○	△ 活膜部分には不向き
セトールデッキプラス (造膜性が強い)	△ 活膜部分には不向き 脱落部分下塗りとして	×	×	×	△	○	△ 活膜部分には不向き
セトールBLXpro (水性半造膜タイプ)	×	×	×	×	×	×	○

※セトール BLXpro は水性タイプです。セトール HLSe のメンテナンスとして使用は可能ですが、セトール BLXpro のメンテナンスに油性タイプの製品は不向きです。